



富山県

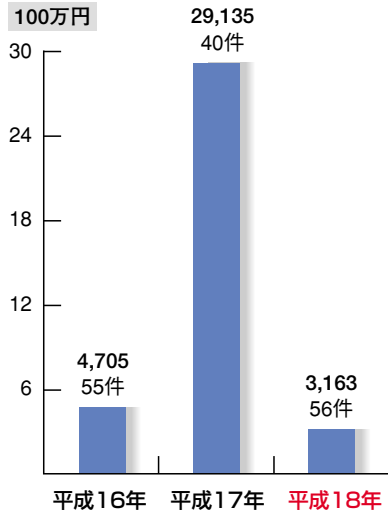
- 社会貢献活動拠出額3,163,100円
- 社会貢献活動拠出件数56件

- 総人口1,111,602人
 - 男性535,542人
 - 女性576,060人
 - 人口密度(1Km²当たり).....262人
 - 世帯数371,732世帯
- ※総務省国勢調査資料より(平成17年10月)

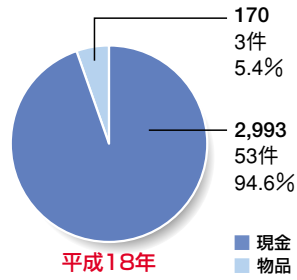


富山県遊技業協同組合
山本容基 理事長

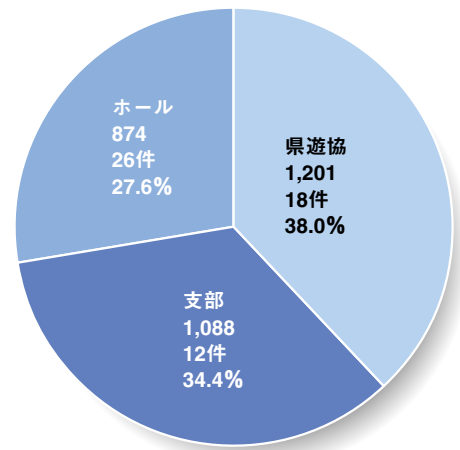
■ 年別 拠出額と拠出件数 (単位:千円)



■ 平成18年 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



ホールの一部を車いす対応に変更し 身体障害者パチンコ大会を開催

身体障害者協議会の依頼により、ホールの一部を車いすの方でも利用できるものに変更。さらに身体障害者のためのパチンコ大会を開催し、参加者全員に豪華賞品をプレゼントした。



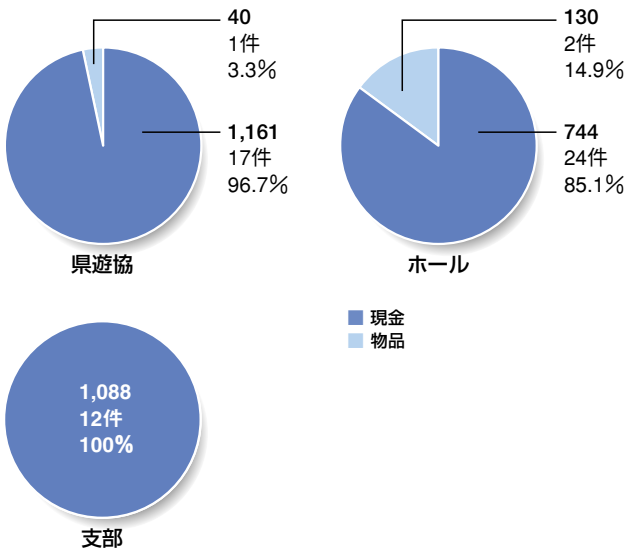
「第20回レクリエーション大会」の様子



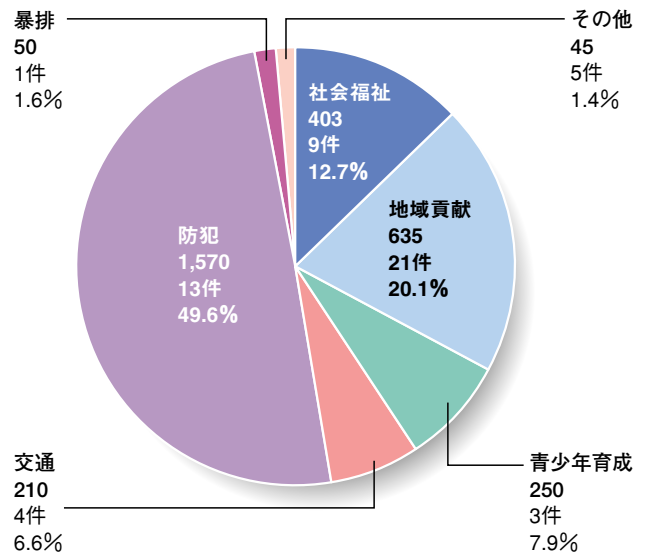
遊技を楽しむ身体障害者の方々

※物品は現金換算した金額です。
 ※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。
 従って合計が合わない場合があります。

■ 平成18年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



青年部2名と事務局長が児童福祉施設を訪問 園児にお菓子和商品券をプレゼント

12月24日、サンタクロースに扮した富山県遊技業協同組合の青年部2名と事務局長が児童福祉施設を訪問。園児たちにお菓子をじかに手渡すとともに、商品券をプレゼントした。



児童福祉施設訪問の様子

活動の現場から 子どもたちの笑顔に活動の大切さを学びました

2006年10月、富山県遊技業協同組合が主催となり、チャリティーゴルフコンペが開催されました。その時に私も、受付や授賞式といったお世話係を担当しました。

その際にチャリティーとして集まったお金で、12月24日、児童福祉施設の子どもたちにクリスマスプレゼントを贈りました。

当日は澤田章事務局長と、澤田修宏青年部副部

会長、私の3名で児童福祉施設を訪問。そのうち青年部の2人がサンタクロース姿に扮し、お菓子を40名の園児一人ひとりに手渡すとともに、商品券5万円分をプレゼントしました。

訪問時には、子どもたちがプレゼントを手に喜んでいる様子がとても印象的でした。その笑顔を見ながら、今後もこういった活動を続けていきたいと感じました。



富山県遊技業協同組合
青年部会長
櫻野孝也



石川県

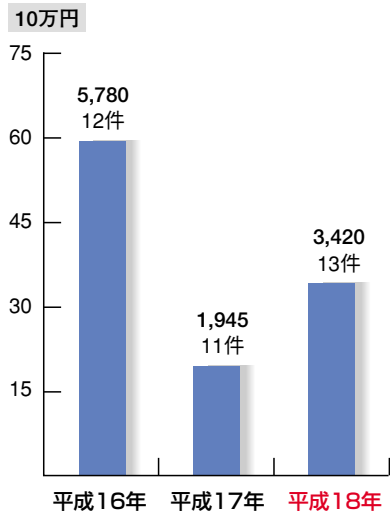
- 社会貢献活動拠出額3,419,642円
- 社会貢献活動拠出件数13件

- 総人口1,173,994人
 - 男性566,975人
 - 女性607,019人
 - 人口密度(1Km²当たり).....280人
 - 世帯数424,431世帯
- ※総務省国勢調査資料より(平成17年10月)

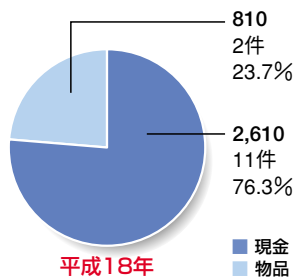


石川県遊技業協同組合
玉川昌範 理事長

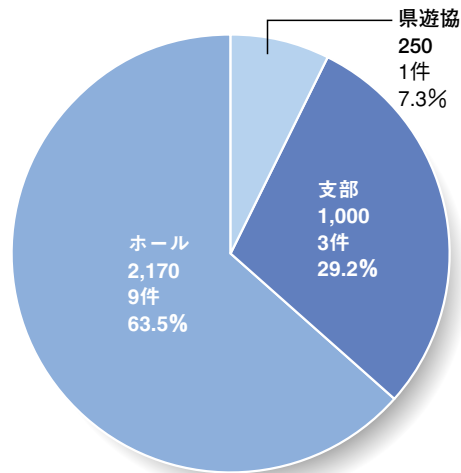
■ 年別 拠出額と拠出件数 (単位:千円)



■ 平成18年 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



正月用の商品のシール貼付作業を 授産施設に依頼

組合加入ホールが、正月来場者に配る年賀商品に貼付する「年賀シール」の作業を授産施設「セルフはくさん」に委託。施設の活動援助に貢献した。



作業風景の様子

心身障害者施設と共同で バザーを開催

西原物産株式会社では、大將軍長田店の駐車場にて心身障害者社会福祉法人3団体と共同でバザーを開催、商品となる日用品等を寄贈した。また、社会福祉法人ひびきに自動車を贈呈した。



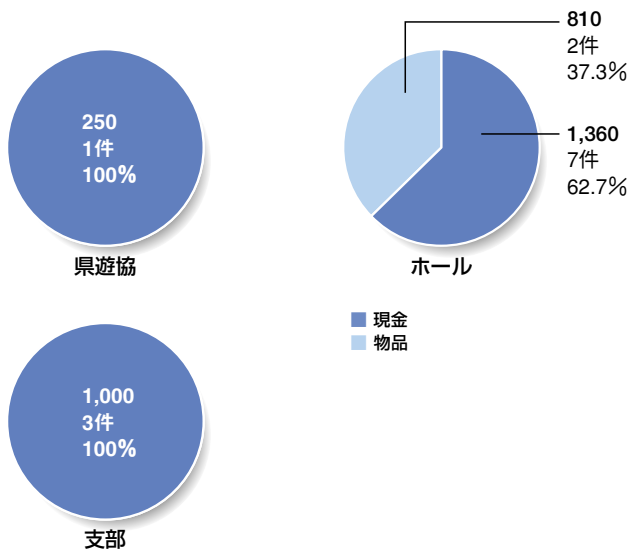
西原物産株式会社で行われたバザーの様子



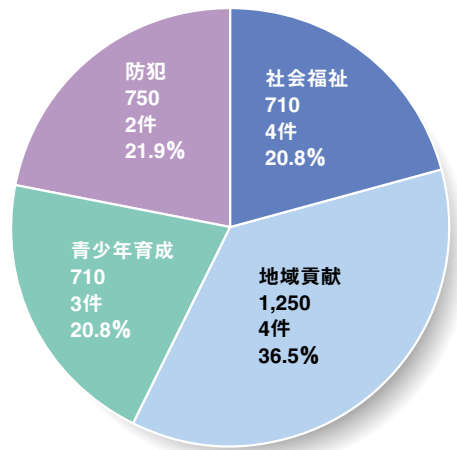
寄贈した自動車

※物品は現金換算した金額です。
 ※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。
 従って合計が合わない場合があります。

■ 平成18年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



自動車盗難等防止キャンペーンに 全ホール参加

官民合同で実施する自動車盗難等防止キャンペーンに全ホールが参加。期間中はポスター掲示や全国統一行動の参加、チラシ・ノベルの配布等を行った。

- 養護施設入所者の商業施設見学を支援
- 内灘海岸にて清掃活動に参加
- アルミ缶の回収作業を実施し、車いす購入資金として贈呈

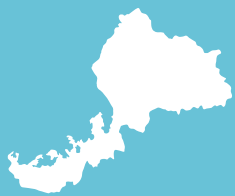
活動の現場から 地域企業としての自覚とともに地道な活動を続けたい

心身障害者社会福祉法人ひまわり教室、すーぶる、パッチワーク等の団体が制作したはがきセットをあまり玉景品用に購入したり、共同でバザーの開催を行いました。バザーは店舗の駐車場でを行い、人々のふれあいの場を提供しました。また活動のお役に立てるよう、社会福祉法人ひびぎに自動車を寄贈、会場で贈呈式も行いました。

バザーでもっとも印象に残ったのは、参加された施設入所者の方

ちの明るい笑顔でした。こういった活動を通じて、地域に貢献することの大切さをあらためて実感しました。今後も地域企業であることを自覚しつつ、幅広い視野を持ち、コツコツと活動を続けていきたいと思っています。

西原物産株式会社
西原佳蔵



福井県

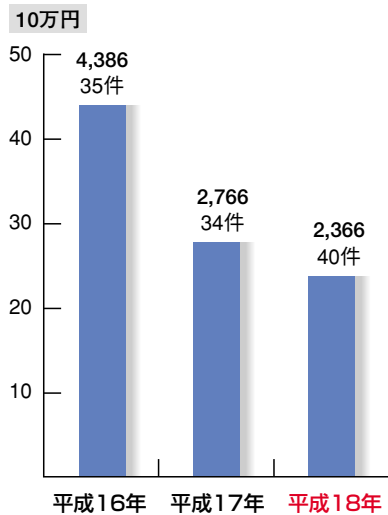
- 社会貢献活動拠出額2,365,500円
- 社会貢献活動拠出件数40件

- 総人口821,589人
 - 男性397,219人
 - 女性424,370人
 - 人口密度(1Km²当たり).....196人
 - 世帯数269,506世帯
- ※総務省国勢調査資料より(平成17年10月)

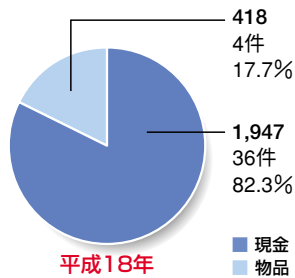


福井県遊技業協同組合
加藤英彦 理事長

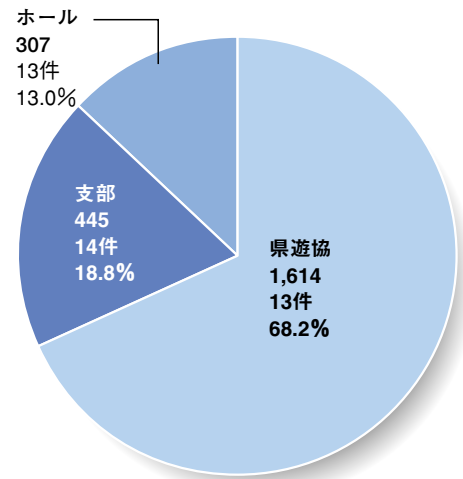
■ 年別 拠出額と拠出件数 (単位:千円)



■ 平成18年 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



高齢者安全指導に講師として従事

大江正之事務局長が、県の高齢者安全指導講師として年に数回、安全教育のため講話を行った。また春、夏、秋の交通安全週間の際にはリーダーとして、街頭活動を行った。

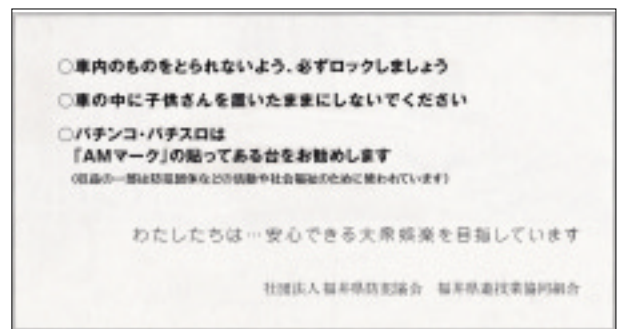


活動の様子

健全な遊技環境づくりのため

『福井新聞』に安全施策情報を掲載

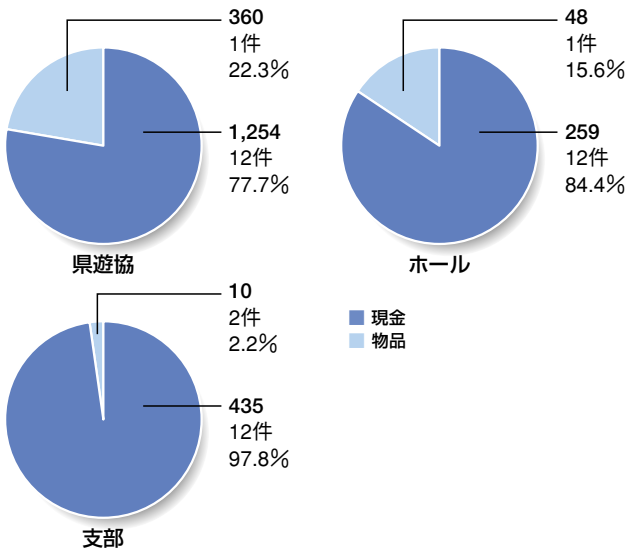
健全な遊技環境づくりのため、『福井新聞』に、年間70～80回にわたって、半5段枠のスペースにて「安全施策情報」を掲載した。これは、2年前より実施している。



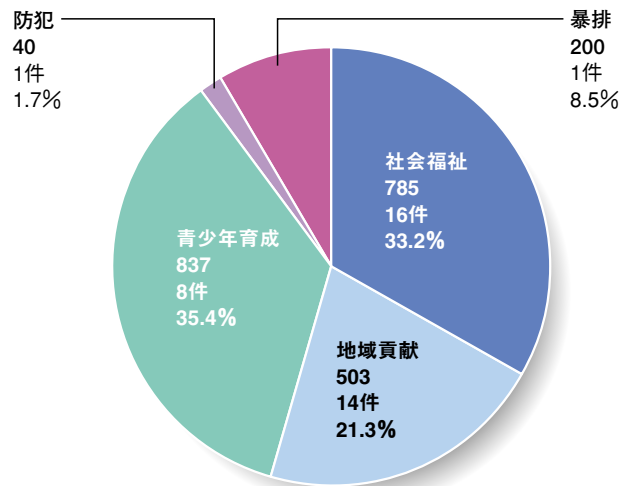
『福井新聞』提供:掲載された「安全施策情報」

※物品は現金換算した金額です。
 ※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。
 従って合計が合わない場合があります。

■ 平成18年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



- 地区内自治組織の「安全パトロール」に協賛し、4月の学童就学期に約1週間主要交差点等に立ち、学童の安全活動に参加
- 3月～4月にかけて、各市町村が主導する「春のクリーン作戦」に各支部ホールがホール周辺を中心に広範囲に空き缶、粗大ゴミを収集
- 社会貢献活動の必要性を認識させるため、青年部会を創設
- 「大野桜まつり」にて行われた、地域安全活動の啓発パトロールに参加
- 「鯖江つつじまつり」会場において、薬物乱用防止チラシ等を配布するなど非行防止活動を実施
- 「パチンコ・パチスロ感謝祭」を実施。スクラッチくじにより賞品を贈呈するほか、組合作成のポスターを店内に掲示
- 全国地域安全活動、街頭パトロールに参加

活動の現場から **地域に根ざした活動で、安全・安心な社会づくりを**

2006年度の活動として、10月に東京で行われた「手軽に遊べるパチンコ・パチスロ展示会」に出席し、青年部の活動状況などを同県の方たちとの交流を図りました。

社会貢献活動としては、青年部が中心となってホール周辺に落ちている空き缶等のゴミ拾いを実施し、地域の人たちから感謝の言葉をいただきました。また、地域の少年たちが中心となって活動したクリーン作戦に

も積極的に参加し、地域の美化と少年の健全育成活動に貢献しました。

2006年度に創設し、青年部としての活動を始めたばかりですが、様々な活動を通じて、安全・安心な社会の確立と地域に根づいた業界として発展を目指していきたいと思ひます。



福井県遊技業協同組合
 青年部会長
 中西幾夫



岐阜県

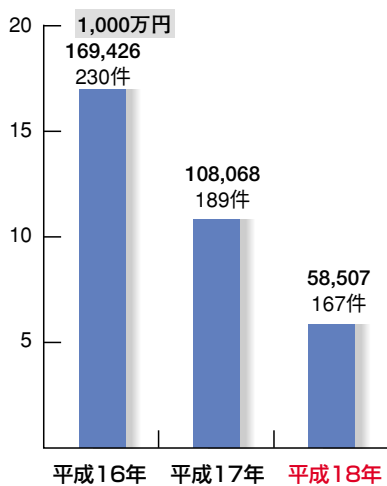
- 社会貢献活動拠出額58,506,514円
- 社会貢献活動拠出件数167件

- 総人口2,107,293人
 - 男性1,020,617人
 - 女性1,086,676人
 - 人口密度(1Km²当たり).....198人
 - 世帯数713,276世帯
- ※総務省国勢調査資料より(平成17年10月)

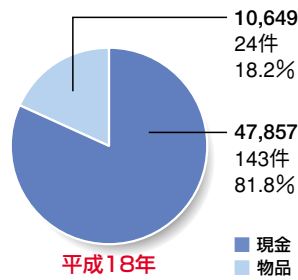


岐阜県遊技業協同組合
岩本栄植 理事長

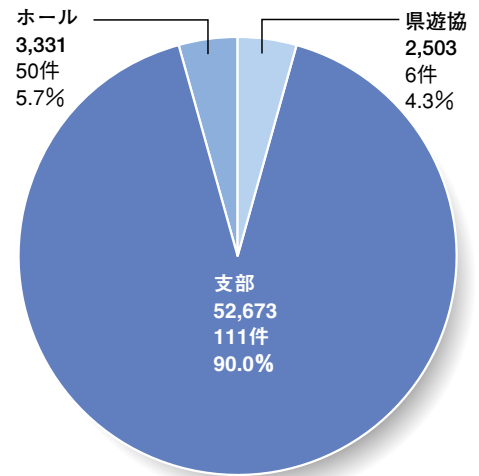
■ 年別 拠出額と拠出件数 (単位:千円)



■ 平成18年 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



TOPICS

岐阜の自然を愛する人々の想いを後世へ

2002年の大規模山林火災からの再生を目指す「緑の山再生プロジェクト」を継続的に支援してきた岐阜県遊協傘下の4団体。2006年には、山林火災跡地における同プロジェクトの終了を記念するとともに、その活動を後世に伝えていくため、火災が起こった山中の「東海自然歩道」に4団体からあずまやが寄贈された。

岐阜市と各務原市のちょうど中間地点に建てられたあずまやは、両市民及びプロジェクトに携わったすべての人々の志のシンボルとして佇んでいる。また、火災跡地の一帯は、両市の小中学生からの公募により「どんぐり山」と名付けられた。



あずまやには「緑の山再生プロジェクト」に尽力した4団体名が記されている



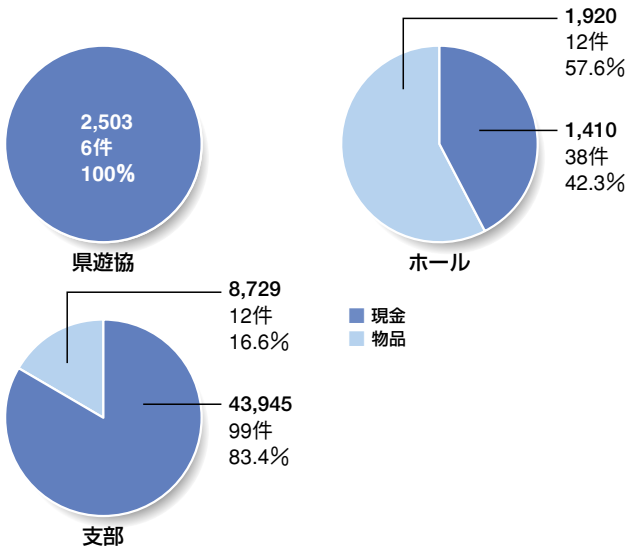
山林火災の起きた山を望む「東海自然歩道」に建つあずまや。両脇の記念碑は、火災の経緯を記したもの(右)と、岐阜市が「第57回全国植樹祭」のサテライト会場に選定されたことを記したもの(左)



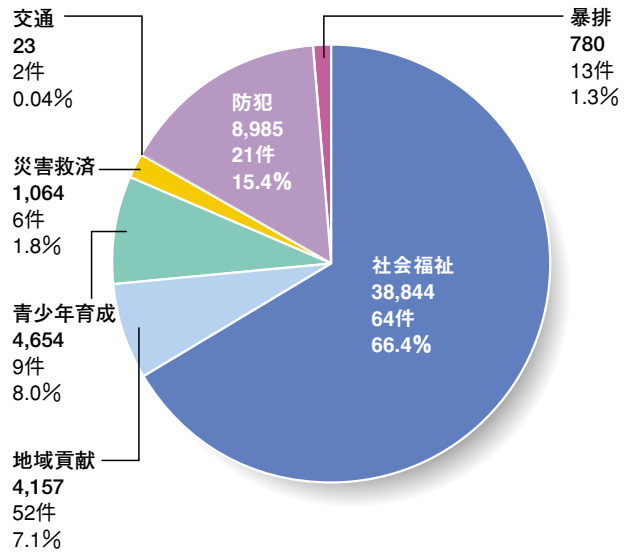
あずまや設置の際には、県緑化促進委員会等により4団体の代表へ感謝状が贈呈された

※物品は現金換算した金額です。
 ※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。
 従って合計が合わない場合があります。

■ 平成18年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



サンタクロースに扮し 養護施設でプレゼントを配布

養護施設でパーラーキング可児店従業員がサンタの衣装を着用し、児童約100人にお菓子やおもちゃを配布。活動の様子が、地元新聞に写真付きで掲載された。



子どもたちとのふれあいの様子

- 大日産業株式会社EUROSTAR店従業員全員で熊野神社の草ひき仕事に年2回参加、奉仕活動を実施
- 株式会社TRY&TRUST全店内に盲導犬育成支援の募金箱を設置、集まった募金を支援活動団体に寄付

夏休み中の パトロール強化を実施

下呂防犯接客業組合員と協力し、夏休み期間中、ホール内外、駐車場、自動販売機周辺のパトロールを強化した。1~5回実施した。



パトロールの様子

- ひざんホール従業員全員で献血に協力
- 金山町交通安全協会主催の年末年始交通安全強化パトロールに協力、ホール駐車場でパンフレットを配布

活動の現場から クリスマス訪問で子どもたちと交流を図る

来場者や関係会社の協力を得て、可児市下恵土の市養護訓練センターに、毎年クリスマス訪問を行っています。

当日は、スタッフがサンタクロースに扮装し、プレゼントをもって訪問。100人の子どもたち一人ひとり手渡してプレゼントを渡す時、「ありがとう」と言われ、とても喜んでくれます。

私たちがこの活動をととても楽しみにしていて、毎年12月に入ると、訪問を待ちわびる子どもたちのことを考えて、こちらもわくわくしてきてしまうくらい。子どもたちに喜んでもらうためにも、サンタの衣装が似合うように太りたいとも思います。今後も引き続き活動を行い、子どもたちと交流を持ち続けていきたいと思っています。



株式会社平成観光
 営業部営業一課主任
 稲垣早人



愛知県

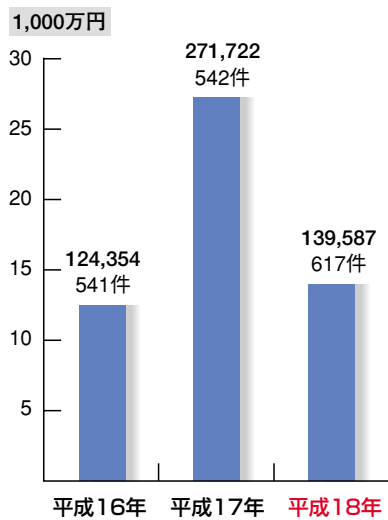
- 社会貢献活動拠出額139,587,358円
- 社会貢献活動拠出件数617件

- 総人口7,254,432人
 - 男性3,638,486人
 - 女性3,615,946人
 - 人口密度(1Km²当たり) ...1,405人
 - 世帯数2,756,200世帯
- ※総務省国勢調査資料より(平成17年10月)

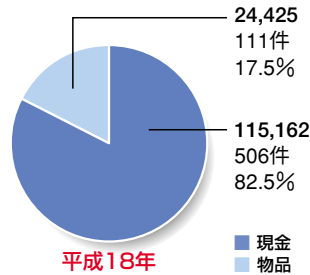


愛知県遊技業協同組合
木下栄吉 理事長

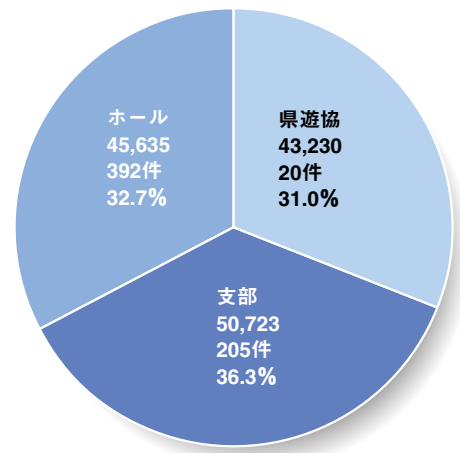
■ 年別 拠出額と拠出件数 (単位:千円)



■ 平成18年 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



パチンコ大衆文化・福祉応援賞を毎年贈呈

文化や芸術、福祉の分野で地域社会に貢献している12の個人・団体を表彰するパチンコ大衆文化・福祉応援賞を毎年贈呈。2006年度で21回目を迎え、県民の間にも定着している活動である。



表彰式の様子

青年部主導で第19回チャリティーゴルフ大会を開催

三笠宮寛仁殿下のご指導の下に行われる「宮様杯愛遊青ウエルフェアゴルフ大会」を毎年開催。第19回目を迎えた2006年度は120名が参加。集まった義援金は福祉団体に寄付した。



寄付金の贈呈



寛仁親王・親王妃杯受賞者

正月三が日に授産施設で製造したクッキー等を来店客に配布

正月三が日をファン感謝デーとして、福祉年賀キャンペーンを実施。授産施設で製造したクッキーを一括購入、年賀シール付きのヤクルト商品とともに、ホール来店客に配布した。



授産施設でのクッキーの製造

福祉施設等の児童を名古屋水族館・ポリシヨイサーカスに招待

福祉施設、身体障害者施設、母子家庭の児童280名を名古屋水族館・ポリシヨイサーカスに招待した。当日は観光バス6台を使用し、送迎も行った。

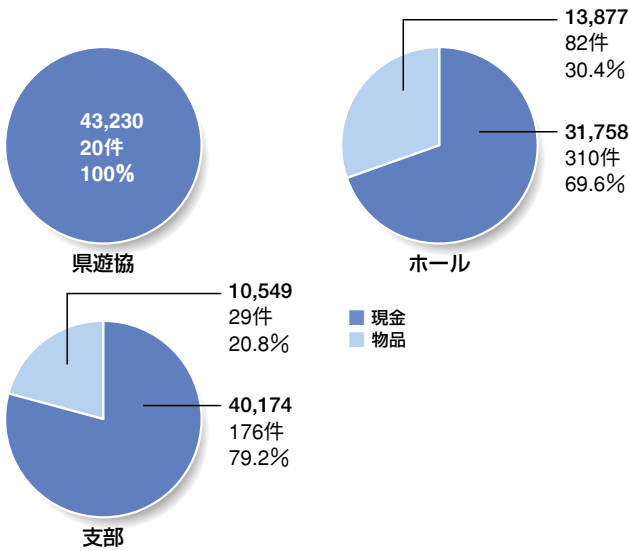


水族館・サーカス観賞に向かう児童ら

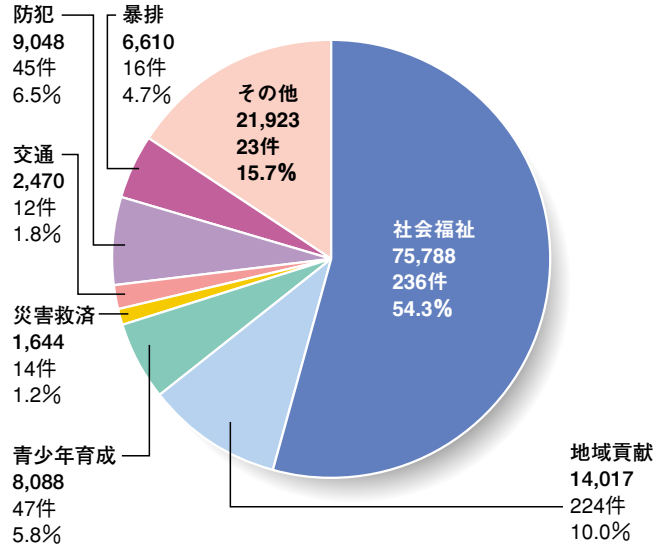


※物品は現金換算した金額です。
 ※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。
 従って合計が合わない場合があります。

■ 平成18年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



地域の安全活動に役立てるため
 青パト1台を贈呈

西区遊技場防犯組が西区の協議会に青パト1台を贈呈。防犯、交通安全、青少年健全育成等の地域安全活動に貢献した。贈呈の際には、贈呈式も行われた。



贈呈式

- 県内13福祉団体に福祉基金を寄付
- 東海テレビ福祉文化事業団「愛の鈴」に義援金を寄付
- 福祉施設後援会主催のウェルフェアコンサートを支援
- 財団法人愛知県交通安全協会へ活動資金を寄付
- 財団法人暴力追放愛知県民会議へ活動資金を寄付
- ホール周辺地区の高齢者約150人を招待し、パチンコ大会を開催
- 福祉施設児童63人を財団法人善意銀行を通じプロ野球公式戦へ招待
- 総合福祉センター、福祉作業所等への通所者200名を観光ヤナに招待し、鮎、ニジマス等のつかみ取り体験ツアーを実施
- 授産施設の商品を100万円相当購入
- フリーマーケットを開催。不要になった商品を販売した売上金を光乳児園に紙おむつ、東海交通遺児を励ます会に39,671円寄付
- 知的障害者施設の盆踊り大会、地域の祭りに参加。やぐらから餅投げを実施

活動の現場から 「明るく元気よく」青年部会一丸となって頑張りたい

「明るく 元気よく 業界構造改革」を合言葉に社会貢献活動や研修などの活動を行っています。

今年度は「第19回宮様杯愛遊青ウェルフェアゴルフトーナメント2006」を青年部主導で開催したり、ウェルフェアコンサート開催の支援を行いました。また、不正遊技機排除推進委員会による自主立ち入り検査に担当役員が積極的に参加、研修や勉強会を開催するなど、視野の拡大、資質の向上に努めました。

今後も青年部会組織の拡大と県の枠を超えた連携・協力、資質の向上を目標に青年部会一丸となって頑張っていきたいと思っています。



愛知県遊技業協同組合
 青年部会長
 近藤勝己



三重県

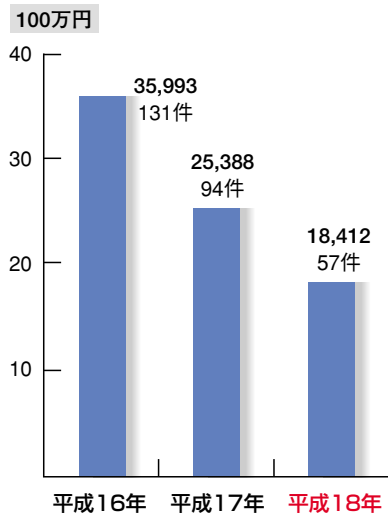
- 社会貢献活動拠出額18,412,377円
- 社会貢献活動拠出件数57件

- 総人口1,867,166人
 - 男性907,294人
 - 女性959,872人
 - 人口密度(1Km²当たり).....323人
 - 世帯数675,025世帯
- ※総務省国勢調査資料より(平成17年10月)

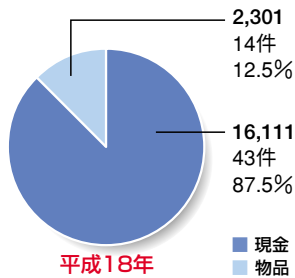


三重県遊技業協同組合
山下健次 理事長

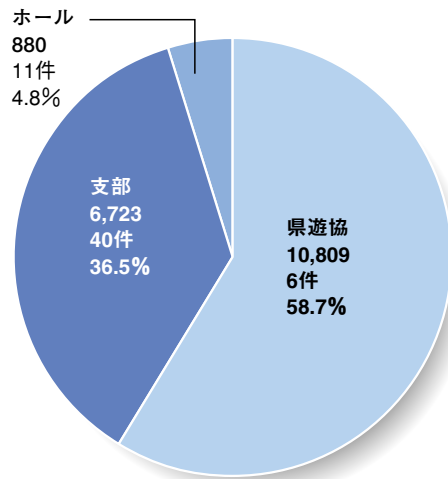
■ 年別 拠出額と拠出件数 (単位:千円)



■ 平成18年 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 拠出元別 拠出額と割合 (単位:千円)



「MPドリーム助成金」を贈呈

ボランティア団体を助成

三重県内で活動するNPO法人等ボランティア団体を対象にした「MPドリーム助成金」を35団体に贈呈。12月19日に贈呈式を行った。この活動は今年度で4回目となる。



副知事のあいさつ



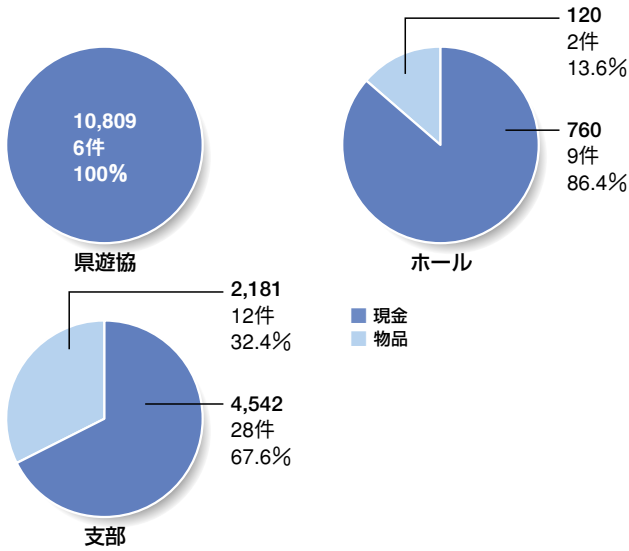
贈呈式の様子

<贈呈先団体>

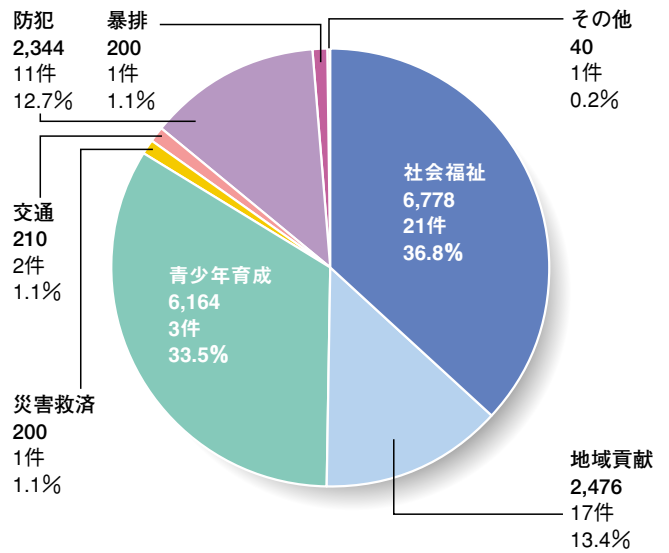
- ・川づくり会議みえ
 - ・フリースペースめだかの学校
 - ・子育て広場・ドロップin
 - ・ユニバーサルデザイン久居
 - ・おばあちゃんの家「なのはな文庫」
 - ・森林の風
 - ・我楽他倶楽部
 - ・サポートステーションプロジェクトN
 - ・みどりの家
 - ・三重にフリースクールを作る会
 - ・伊賀の友
 - ・KOKUSAI KIDS CLUB
 - ・フレンズ
 - ・要約筆記「サーキット」
 - ・あいプロジェクト
 - ・チャレンジスクール三重
 - ・新町ボランティア友の会
 - ・こどもサポート鈴鹿
 - ・いもっこ明和
 - ・あやめ会
 - ・三重県シーンボイスサポート協会
 - ・地域福祉ボランティアグループふくふく会
 - ・CTF松阪
 - ・伊勢市ひばり朗読奉仕会
 - ・三重要約筆記サークル「津あみへご」
 - ・みえ犯罪被害者総合支援センター
 - ・「チャイルドライン24」実施組織
 - ・防災一座
 - ・体験ひろば☆こどもスペース四日市
 - ・三重県防犯協会連合会
 - ・三重県トイレ協会
 - ・暴力追放三重県民センター
 - ・MIEチャイルドラインセンター
 - ・くれよんサークルボランティア事業部
 - ・みつまたを愛する会
- (順不同)

※物品は現金換算した金額です。
 ※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。
 従って合計が合わない場合があります。

■ 平成18年 拠出元別 現金・物品の割合 (単位:千円)



■ 平成18年 分野別 拠出額と割合 (単位:千円)



子どもたちが絵本を楽しめる場所を提供する「なのはな文庫」に助成

自宅を開放し、地域の子どもたちが絵本を楽しめる場所を提供する「おばあちゃんの家『なのはな文庫』」の活動に助成。地域の子どもたちに読み聞かせや紙芝居等お話の楽しさを伝える活動を行っている。



おばあちゃんの家
「なのはな文庫」

子育て支援を行う「子育て広場・ドロップin」を助成

0歳から幼児を対象に子育て支援を行う団体「子育て広場・ドロップin」を助成。段ボールで作ったトンネル等、家ではできない遊びを体験できる教室「からだであそぼう!びーかぶー」を実施している。



「からだであそぼう!びーかぶー」の様子